



平成30年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 9500
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	6,623	12.6	787	20.1	792	20.4	515	21.3
29年12月期第3四半期	5,882	4.6	655	△6.8	658	△5.9	425	△0.2

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 539百万円 (22.1%) 29年12月期第3四半期 442百万円 (△2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	17.59	-
29年12月期第3四半期	14.51	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	6,362	4,413	66.1	143.35
29年12月期	5,836	4,084	66.7	132.79

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 4,204百万円 29年12月期 3,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	-	0.00	-	7.00	7.00
30年12月期	-	0.00	-	-	-
30年12月期(予想)	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,900	10.0	1,150	21.1	1,150	20.7	750	17.8	25.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	30,955,000株	29年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	1,622,900株	29年12月期	1,640,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	29,322,023株	29年12月期3Q	29,309,149株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（平成30年12月期3Q：72,900株、平成29年12月期：90,900株、平成29年12月期3Q：90,900株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ

「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	6,623百万円 (前年同期比12.6%増)
営業利益	787百万円 (同20.1%増)
経常利益	792百万円 (同20.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	515百万円 (同21.3%増)

となりました。

当第3四半期連結累計期間はシステム開発事業が減収となったものの、営業イノベーション事業、フィールドマーケティング事業、出版事業が堅調に推移したことにより、増収となりました。利益面におきましては、増収の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに増益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「eセールスマネージャー関連事業」を「営業イノベーション事業」に名称変更しております。

当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

1. 営業イノベーション事業

当事業におきましては、営業面では引き続きセミナー開催などを通じて新規顧客の開拓を推進するとともに、集合研修会を数多く実施することで既存顧客への利用促進にも取り組んでまいりました。また開発面では主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の使い勝手の良さを追求した開発に引き続き取り組みました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の販売がクラウド型を中心に堅調に推移しました結果、売上高は3,367百万円(前年同期比11.2%増)となりました。また利益面に関しましては、成長に向けての従業員数増加やオフィス移転等による諸経費の増加等により、セグメント利益は522百万円(同0.1%減)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大手消費財メーカーを中心に新規顧客開拓を引き続き進めるとともに、POB事業では、大手共通ポイント会員に対するPOB会員拡大を推進いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、フィールド活動一括受託などのストックビジネスが引き続き好調に推移していることに加え、店頭構築などのスポット案件についても堅調に推移しており、売上伸長に寄与いたしました。

以上の結果、売上高は2,745百万円(同16.5%増)、セグメント利益は237百万円(同45.9%増)となりました。

3. システム開発事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、一部大型案件の取引規模縮小の影響により減収となりました。一方、費用面では、プロジェクト管理の徹底による収益性改善の見直しを図るなどコスト抑制に取り組んだ結果、売上高費用比率は改善いたしました。

以上の結果、売上高は305百万円(同4.9%減)、セグメント利益は10百万円(同904.7%増)となりました。

4. 出版事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上面では書籍の堅調な販売を背景に増収となりました。利益面につきましても、増収に加えコストの抑制に取り組んだ結果、改善いたしました。

以上の結果、売上高は204百万円(同15.4%増)、セグメント利益は15百万円(前年同期は31百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産 6,362百万円(前連結会計年度末比 9.0%増)

負 債 1,948百万円(前連結会計年度末比 11.3%増)

純資産 4,413百万円(前連結会計年度末比 8.1%増)

となりました。当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ526百万円増加し、6,362百万円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が549百万円増加したことによるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ197百万円増加し、1,948百万円となりました。その主たる要因は、前受金が211百万円増加したことによるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ328百万円増加し4,413百万円となりました。その主たる要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が309百万円増加したことによるものです。自己資本比率は、66.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成30年1月30日に公表いたしました平成30年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,135,773	3,685,188
受取手形及び売掛金	1,592,257	1,548,615
商品及び製品	52,404	57,235
仕掛品	53,341	60,283
繰延税金資産	45,927	46,223
その他	203,479	185,526
貸倒引当金	△12,606	△16,038
流動資産合計	5,070,578	5,567,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,419	84,711
減価償却累計額	△13,301	△35,504
建物及び構築物(純額)	69,117	49,206
工具、器具及び備品	284,930	299,816
減価償却累計額	△216,063	△233,608
工具、器具及び備品(純額)	68,867	66,207
有形固定資産合計	137,985	115,414
無形固定資産		
ソフトウェア	461,018	519,454
その他	915	915
無形固定資産合計	461,933	520,369
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	143,726	137,135
長期滞留債権	45,606	44,809
繰延税金資産	16,600	17,203
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△45,606	△44,809
投資その他の資産合計	165,826	159,839
固定資産合計	765,745	795,623
資産合計	5,836,324	6,362,658

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	283,280	296,814
未払金	342,314	348,626
未払役員賞与	28,290	—
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	198,716	111,874
前受金	414,908	626,043
賞与引当金	54,734	69,797
役員賞与引当金	—	24,705
返品調整引当金	12,865	9,121
その他	164,852	242,439
流動負債合計	1,655,962	1,885,422
固定負債		
長期借入金	84,000	44,500
株式給付引当金	7,334	6,924
その他	4,204	12,088
固定負債合計	95,539	63,512
負債合計	1,751,501	1,948,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	2,950,680	3,260,518
自己株式	△251,820	△249,516
株主資本合計	3,892,719	4,204,861
非支配株主持分	192,103	208,861
純資産合計	4,084,822	4,413,722
負債純資産合計	5,836,324	6,362,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,882,399	6,623,073
売上原価	3,658,937	4,229,331
売上総利益	2,223,461	2,393,742
販売費及び一般管理費	1,567,890	1,606,675
営業利益	655,571	787,066
営業外収益		
受取利息	126	136
助成金収入	2,769	3,245
為替差益	—	961
違約金収入	1,537	—
保険解約返戻金	181	347
雑収入	93	1,429
営業外収益合計	4,709	6,120
営業外費用		
支払利息	995	719
為替差損	1,023	—
貸倒引当金繰入額	—	190
雑損失	—	0
営業外費用合計	2,018	909
経常利益	658,261	792,277
特別損失		
リース解約損	—	5,690
固定資産除却損	1,238	—
特別損失合計	1,238	5,690
税金等調整前四半期純利益	657,023	786,586
法人税、住民税及び事業税	222,810	247,635
法人税等調整額	△7,945	△899
法人税等合計	214,865	246,735
四半期純利益	442,158	539,850
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,864	24,177
親会社株主に帰属する四半期純利益	425,293	515,673

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	442,158	539,850
四半期包括利益	442,158	539,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,293	515,673
非支配株主に係る四半期包括利益	16,864	24,177

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,026,986	2,357,110	321,212	177,089	5,882,399	-	5,882,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,913	2,638	45,493	-	70,044	△70,044	-
計	3,048,899	2,359,748	366,706	177,089	5,952,443	△70,044	5,882,399
セグメント利益又は 損失 (△)	522,760	163,104	1,084	△31,176	655,772	△201	655,571

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△201千円には、固定資産の調整47千円、棚卸資産の調整額△248千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,367,477	2,745,818	305,384	204,393	6,623,073	-	6,623,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,495	1,440	25,495	6,804	53,235	△53,235	-
計	3,386,973	2,747,258	330,879	211,197	6,676,309	△53,235	6,623,073
セグメント利益又は 損失 (△)	522,385	237,915	10,893	15,814	787,009	57	787,066

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額57千円には、固定資産の調整195千円、棚卸資産の調整額△138千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「eセールスマネージャー関連事業」を「営業イノベーション事業」に名称を変更しております。

なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。